



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔

TEL 052-533-3135

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	77,927	15.2	6,077	39.3	6,521	37.9	3,792	42.4
2020年3月期第2四半期	91,848	1.1	10,005	3.5	10,502	3.9	6,582	8.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,716百万円 (53.1%) 2020年3月期第2四半期 5,794百万円 (20.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	58.08	58.06
2020年3月期第2四半期	100.82	100.78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	190,592	142,822	67.7
2020年3月期	203,626	144,414	63.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 129,109百万円 2020年3月期 130,198百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		49.00		57.00	106.00
2021年3月期		49.00			
2021年3月期(予想)				57.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,500	8.9	14,500	30.5	14,700	31.1	9,000	29.3	137.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	67,590,664 株	2020年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,297,109 株	2020年3月期	2,296,827 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	65,293,669 株	2020年3月期2Q	65,294,297 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年11月26日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しており、雇用情勢や設備投資に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況にあります。また、アジア・オセアニア地域の経済につきましては、中国では持ち直しつつありますが、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、インドやインドネシアでは依然として厳しい状況が継続しています。

国内建設市場においては、住宅着工は、持家や貸家および戸建てが大幅に減少しました。非住宅関連では、景気の先行き不透明感から、店舗、工場、医療・福祉施設、などの着工面積が減少し、全体としても前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。また、グループ一丸となって業務改革を推進し、生産効率の向上、各種コスト削減などに努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77,927百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益6,077百万円（同39.3%減）、経常利益6,521百万円（同37.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,792百万円（同42.4%減）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

#### (化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内においては、木工・家具向け汎用接着剤、施工用接着剤、集成材用接着剤などが低調で売上が前年を下回りました。海外においては、新型コロナウイルスの影響により、アジア各国で需要が低迷したため、売上が減少しました。

建設樹脂系商品は、橋梁・土木用の補修・補強材が好調に推移したものの、工場・倉庫向けの塗り床材が低迷し、売上が減少しました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内会社においては、電子機器関連用途のUV樹脂が前年を上回りましたが、自動車用ホットメルトや紙・粘着剤・繊維用途のアクリル・コンパウンド製品、化粧品用の有機微粒子が低迷し、前年を下回りました。エバモア・ケミカル・インダストリー社につきましては、主力製品のシューズおよびスポーツウエア向けのウレタン樹脂や家具の塗料向け架橋剤が低迷し、前年を下回りました。

この結果、売上高は41,212百万円（前年同期比19.7%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は2,482百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

#### (建装建材セグメント)

メラミン化粧板は、国内においては、抗ウイルスメラミン化粧板「アイカウイルテクト」が好調でしたが、大都市圏での工事減少、店舗需要の低迷などが影響し、前年を下回りました。海外においては、インドで売上が低迷しましたが、第1四半期連結累計期間より連結業績に組み入れたウィルソナート各社やアイカHPLトレーディング社が寄与し伸長しました。全体としても売上が伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板が低迷し、前年を下回りました。

メラミン不燃化粧板「セラール」は、抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラールウイルテクト」が売上が伸ばしましたが、公共施設等の工事減少と住宅リフォーム工事停滞の影響を受けて、全体としては売上が前年を下回りました。

不燃建材は、多機能建材「モイス」が耐震需要の取り込みにより、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」が医療・福祉施設や教育施設の好調により、それぞれ伸長しましたが、押出成型セメント板「メース」が低迷し、前年を下回りました。

カウンター・ポストフォーム商品は、天然石の代替品としてキッチン・洗面カウンター需要を獲得した高級人造石「フィオレストーン」や、汎用的なポストフォームカウンターが好調でしたが、戸建て住宅や集合住宅向けのキッチン対面カウンター「バリューエッジカウンター」が低調で、全体として売上が前年を下回りました。

建具・インテリア建材は、医療福祉施設向け機能建具「U.D.（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」が好調で売上が伸ばしましたが、住宅向けの建具が低迷し、前年を下回りました。

この結果、売上高は36,714百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は4,912百万円（前年同期比33.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は114,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,536百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が12,720百万円、商品及び製品が413百万円、流動資産のその他が979百万円減少したことによるものであります。固定資産は75,979百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,501百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が886百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、190,592百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,034百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は40,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,364百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6,225百万円、電子記録債務が1,392百万円、流動負債のその他が2,514百万円減少したことによるものであります。固定負債は7,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、47,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,442百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は142,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,591百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が1,462百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.7%（前連結会計年度末は63.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2020年5月19日公表の業績予想に変更はありません。今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,690	40,619
受取手形及び売掛金	61,691	48,970
商品及び製品	10,153	9,739
仕掛品	1,132	1,368
原材料及び貯蔵品	8,098	7,741
その他	8,002	7,022
貸倒引当金	△620	△850
流動資産合計	129,148	114,612
固定資産		
有形固定資産	49,478	49,900
無形固定資産		
のれん	6,352	6,901
その他	3,784	4,121
無形固定資産合計	10,136	11,022
投資その他の資産		
その他	14,874	15,079
貸倒引当金	△12	△23
投資その他の資産合計	14,862	15,056
固定資産合計	74,477	75,979
資産合計	203,626	190,592
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,799	18,574
電子記録債務	5,207	3,814
短期借入金	5,947	6,145
未払法人税等	3,616	2,539
賞与引当金	1,957	1,604
その他	10,040	7,526
流動負債合計	51,568	40,204
固定負債		
長期借入金	914	904
退職給付に係る負債	1,476	1,478
その他	5,252	5,182
固定負債合計	7,643	7,565
負債合計	59,212	47,769
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,276	13,276
利益剰余金	106,786	106,843
自己株式	△2,009	△2,010
株主資本合計	127,945	128,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,743	3,080
繰延ヘッジ損益	16	△1
為替換算調整勘定	△474	△1,937
退職給付に係る調整累計額	△33	△33
その他の包括利益累計額合計	2,252	1,107
新株予約権	27	27
非支配株主持分	14,188	13,685
純資産合計	144,414	142,822
負債純資産合計	203,626	190,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	91,848	77,927
売上原価	67,411	56,823
売上総利益	24,436	21,103
販売費及び一般管理費	14,430	15,025
営業利益	10,005	6,077
営業外収益		
受取利息	86	79
受取配当金	191	163
投資有価証券売却益	195	556
その他	418	520
営業外収益合計	891	1,320
営業外費用		
支払利息	51	70
売上割引	83	66
納期遅延賠償金	—	513
その他	259	226
営業外費用合計	394	877
経常利益	10,502	6,521
特別損失		
災害による損失	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	10,484	6,521
法人税、住民税及び事業税	2,989	2,503
法人税等調整額	205	△144
法人税等合計	3,194	2,359
四半期純利益	7,289	4,161
非支配株主に帰属する四半期純利益	706	369
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,582	3,792

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,289	4,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△438	336
繰延ヘッジ損益	0	△18
為替換算調整勘定	△935	△1,777
退職給付に係る調整額	△79	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	14
その他の包括利益合計	△1,494	△1,445
四半期包括利益	5,794	2,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,213	2,647
非支配株主に係る四半期包括利益	580	68



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,484	6,521
減価償却費	2,201	2,664
貸倒引当金の増減額(△は減少)	92	228
賞与引当金の増減額(△は減少)	△262	△340
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25	40
受取利息及び受取配当金	△277	△243
支払利息	51	70
売上債権の増減額(△は増加)	4,678	12,477
たな卸資産の増減額(△は増加)	△206	364
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△665	1,100
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,788	△7,386
その他の流動負債の増減額(△は減少)	380	△2,182
その他	△208	△179
小計	11,508	13,136
利息及び配当金の受取額	278	243
利息の支払額	△53	△69
法人税等の支払額	△3,081	△3,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,651	9,837
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△21	△1,311
定期預金の払戻による収入	120	—
有形固定資産の取得による支出	△3,374	△2,572
無形固定資産の取得による支出	△532	△1,142
投資有価証券の取得による支出	△306	△506
投資有価証券の売却による収入	582	1,020
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△668	△341
関係会社株式の取得による支出	△29	—
その他	△1,363	△323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,593	△5,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4	247
長期借入金の返済による支出	△153	△404
長期借入れによる収入	—	234
配当金の支払額	△3,522	△3,720
非支配株主への配当金の支払額	△441	△542
リース債務の返済による支出	△84	△148
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△128	△1,255
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,326	△5,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△203	△468
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,472	△1,400
現金及び現金同等物の期首残高	45,379	40,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,906	39,243

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,349	40,498	91,848	—	91,848
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,322	—	1,322	△1,322	—
計	52,671	40,498	93,170	△1,322	91,848
セグメント利益	3,955	7,406	11,361	△1,356	10,005

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,356百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,354百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,212	36,714	77,927	—	77,927
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,102	—	1,102	△1,102	—
計	42,315	36,714	79,029	△1,102	77,927
セグメント利益	2,482	4,912	7,395	△1,317	6,077

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,317百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,317百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。